

活性化会議にて指摘・提案いただいたポイント①地元企業への効果的な支援策の拡充

- ・ 新商品開発や販路開拓に向けた継続的伴走支援
- ・ ECなど多様な購買行動へ対応した取組みへの支援
- ・ 域内外への情報発信の強化
- ・ 中核を担うイノベーション人材の育成

対応の方向性

中小企業の域内外での販路開拓や競争力強化に向けて、官民が連携して多様かつ継続的な支援を行う。

<対応策>

①販路開拓に向けた官民連携プラットフォームの形成と情報発信の強化

地域商社機能を持つ官民連携のプラットフォームを形成し、地域産品の磨きあげや域内外での販路開拓を強力に推進するとともに、地域ブランド「都の杜・仙台」を活用するなど、展示会や販売会を通じた域内外への情報発信を強化する。

また、多様な消費者の購買行動に合わせ、ECサイトの構築やギフト商品の開発などの支援を行う。

②専門家の伴走支援の取組みの強化

市産業振興事業団が実施する総合相談や商品づくりチーム支援において企業のニーズに沿ったきめ細かい支援を継続的に行うとともに、「企業間連携による課題解決事業」など、企業が抱える様々な課題解決に向けた専門家の伴走支援の取組み強化する。

③中核人材の育成に向けた各種セミナー等の実施

専門家による多様なセミナーやワークショップを開催するとともに、東北大学地域イノベーション研究センター等と連携した中核人材の育成を行う。



第2回「都の杜・仙台」販売会の様子



商品づくりチーム支援の様子



経営革新セミナーの様子

「販路開拓と地域経済循環の拡大」の今後の方向性

活性化会議にて指摘・提案いただいたポイント②広域連携の取組みの推進

- ・ 支援機関同士の連携強化、ネットワークを活用した支援
- ・ 仙台にとどまらない、広域的な取組みの強化

対応の方向性

国、県、市、各支援機関などの支援主体の連携を強化するとともに、広域的なネットワークを活用して、東北全体の活性化にも寄与する重層的かつ効果的な支援を行う。

<対応策>

①国、県、市、各支援機関の連携強化

国、県、市、各支援機関等による「みやぎ・せんだい連携会議」等の機会を通じて、各主体が提供する支援策やイベント等の情報共有を行うとともに、連携した支援策を提供して、中小企業支援の効果の最大化を図る。

②東北6県や全国の連携都市とのネットワーク化

東北6県や全国の連携都市とのネットワーク化を推進し、域外とのビジネスマッチや販路開拓を推進する。

また、東北地域全体の活性化に向けて、「新東北みやげコンテスト」を活用した東北の地域製品の磨き上げや販路開拓支援を行うとともに、「東北地域ものづくり企業連携事業」を通じた東北域内のものづくり企業の支援やビジネスマッチを図る。



東北各県・連携都市の支援機関合同会議での市内企業プレゼンテーションの様子



東北6県から多数のエントリーのあった「新東北みやげコンテスト」の表彰式の様子